

令和2年12月1日

職員各位

危機管理室
学長 吉田 晃 敏

学外者に対する健康状態等の確認について(依頼)

令和2年11月24日から、本学の「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針(BCP)」のレベルを『レベル2』に引き上げるとともに、この度、『学外者の入構管理』についての指針を新たに追加しました。

製薬会社やMR等の学外者(以下、「学外者」という。)の入構は原則禁止としていますが、教育・研究・診療活動の継続に必要な打合せや工事施工等のため、各部署において学外者の来学をお願いする場合には、以下のとおり、学外者に対し健康状態及び行動履歴の確認を行っていただくよう、お願いします。

なお、特に札幌市等の感染拡大地域を居住地又は勤務地とする学外者への来訪の依頼にあたっては、専門的な知識・技術を要する場合など他の担当者では代替が困難な場合等に限定してください。

ただし、1か月以内に新型コロナウイルスの院内感染が発生した医療機関等に所属する方の来訪は、PCR検査の結果が陰性の場合に限り、入構を認めます。

記

1. 健康状態及び行動履歴の確認が必要な学外者

本学構成員と同室で、2m以内の距離において、15分以上の面会・作業が見込まれる学外者(マスク着用、会話を伴わない場合も含む。)を対象とする。

荷物の搬送等のため一時的に入構される学外者は対象外とするが、手指消毒やマスク着用等の感染対策の徹底をお願いすること。

2. 健康状態及び行動履歴の確認

別添『健康状態及び行動履歴確認票(ご来学者用)』に沿って、面会・作業開始前に、来訪者の**①健康状態及び②同居家族も含めた2週間の行動履歴を確認すること。**(来学される毎に確認票を提出いただき、内容を確認すること。)

確認の結果、健康状態にいずれかの症状がある場合や、新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触があった場合には、ただちに面会・作業を中止すること。

また、健康状態に問題がない場合でも、手指消毒及びマスク着用の継続をお願いするとともに、打合せ等は可能な限り、短時間で済ませること。

なお、記載いただいた『健康状態及び行動履歴確認票(ご来学者用)』は、各部署で2週間適切に保管し、接触日の記録を残すこと。

3. その他

手術応援のため感染拡大地域から来学される他の医療機関の医師等に対しては、事前にPCR検査を受けていただくこと。

【同居家族の行動履歴に関する質問】 ※わかる範囲でご記入ください。

同居家族の 過去2週間以内の道内・ 道外への移動歴	滞在場所 () 移動手段 () 移動日 ()
同居家族の 過去2週間以内の新型コロナウイ ルス感染症陽性者との濃厚接触	<input type="checkbox"/> 有 →同居家族が濃厚接触者となった場合には、日程の変更をお願いします。 <input type="checkbox"/> 無

※ご記入頂きました個人情報、新型コロナウイルス感染拡大防止上、ご本人へ連絡が必要となった際に利用する以外、その他の目的に利用することはありません。

【各部署へのお願い】本確認票を受領した各部署は、受領日から2週間適切に保管してください。

2週間経過後は適切に破棄願います。

旭川医科大学危機管理室

ご来訪者の皆様へ

本学では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の入構を原則禁止としております。教育・研究・診療活動の継続に必要な打合せや工事施工等のため、本学からの依頼を受けてお越しになれる学外の皆様には、以下の内容をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ① ご来訪の際は、必ず電話等での事前連絡をお願いいたします。職員と事前のお約束のない場合は入構できません。
- ② 用務先において、健康状態や行動履歴の確認をさせていただきます。発熱や風邪の症状がある方、新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合(同居のご家族が濃厚接触者である場合を含みます。)は、入構できません。
- ③ 必要不可欠なご来訪は、必要最小限の人数とし、できるだけ短時間での面談をお願いいたします。
- ④ 入構されましたら、石鹸で十分な手洗い、または、アルコールによる手指の消毒をお願いいたします。
- ⑤ 構内では、必ずマスクを着用し、人と人との距離を十分に確保するようお願いいたします。
- ⑥ 大学構内(特に病院内)の必要のない箇所への立ち寄りをご遠慮ください。
- ⑦ 大学構内における本学構成員との会食は、ご遠慮ください。
- ⑧ 来訪後14日間のうちに体調の変化を認めた場合は、本学へご連絡ください。
- ⑨ 年末年始のご挨拶を含め、不要不急のご来訪はお控えください。

※郵便・宅配・納品業者の方が一時的に入構する際は、手指消毒やマスク着用等の感染対策の徹底をお願いいたします。

令和2年12月1日 旭川医科大学危機管理室